

授業科目

カウンセリング技法

担当教員名 原口 彩子	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○			◎	○

授業の概要

ソーシャルワーカーが社会福祉の各分野において対象となる人を適切に支援するためには、こころの相談としての広義のカウンセリング技法を確実に身につけておく必要がある。この授業では、「カウンセリング論」で学習したカウンセリングの基本的な考え方や技法をふまえ、社会福祉のさまざまな現場を事例とした面接の振り返りやロール・プレイング、グループ討議を通して、重層的、かつ体験的に「使えるカウンセリング技法」を習得する。

授業の目的

相談支援に必要な基礎的なカウンセリング技法が、特別な意識をすることなく使いこなせるようになることを目指す。また、技法の学習を通じて自らの面接の仕方を客観的に省み、支援に生かせる自らの強みや修正すべき“くせ”を自覚することができるようになることを目的とする。

学習目標

1. 社会福祉におけるカウンセリングの必要性や意味について説明できる。
2. 社会福祉におけるカウンセリングの対象と、各分野における課題について検討し、説明できる。
3. 社会福祉におけるカウンセリングの実際について、ロール・プレイングやグループ討議によって事例検討できる。
4. 社会福祉の各分野でクライアントの心理的問題を理解し、適切に援助を行うことができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション・カウンセリング技法を学ぶ意味	講義	原口 彩子
2	ロール・プレイングとは	講義・演習	原口 彩子
3	実習先での事例を思い出してみよう	講義・演習	原口 彩子
4	傾聴を助けるさまざまな技法	講義・演習	原口 彩子
5	カウンセリング技法を用いたクライアントの心理的問題の理解	講義+事例検討、ロール・プレイング、グループ討議	原口 彩子
6	〃	〃	原口 彩子
7	〃	〃	原口 彩子
8	自分の面接の仕方を分析してみよう（1）	グループ討議	原口 彩子
9	カウンセリング技法を用いたクライアントの心理的問題の理解	講義+事例検討、ロール・プレイング、グループ討議	原口 彩子
10	〃	〃	原口 彩子
11	〃	〃	原口 彩子
12	〃	〃	原口 彩子
13	〃	〃	原口 彩子
14	自分の面接の仕方を分析してみよう（2）	グループ討議	原口 彩子

15	まとめ・レポートの書き方	講義	原口 彩子
----	--------------	----	-------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	追補版 面接法	熊倉伸宏	新興医学出版社	2003年	1,500円+税	
	福祉現場のロールプレイング	伊東正裕	久美株式会社	2008年	1,900円+税	
その他の資料	適宜プリントを配布する。					

評価方法

- ・ロール・プレイング、グループ討議の参加態度と習熟度 50%
- ・リアクションペーパーの内容 20%
- ・期末レポート 30%

履修上の留意点

この授業は、原則として2年次に「カウンセリング論」を受講した学生を対象とする。未受講の場合は参考書の『面接法』を通読しておくこと。

また精神保健福祉士の受験資格を取得しようとする学生は履修することが望ましい。グループワークやロール・プレイングを中心に行うので、積極的に参加すること。

オフィスアワー・連絡先

原口研究室：E棟3階 E-311

オフィスアワー：毎週火曜日15時以降

連絡先：haraguchi@nuhw.ac.jp